

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	第三者病院機能評価機構経費	事業開始年度	平成7年度	作成責任者		
担当部局庁	医政局	担当課室	指導課	新村指導課長		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	・平成22年5月24日厚生労働省発医政0524第5号「医療施設運営費等補助金、中毒情報基盤整備事業費補助金及び第三者病院機能評価支援事業費補助金の国庫補助について」 ・平成22年3月24日医政発第19号「第三者病院機能評価支援事業実施要綱の一部改正について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	病院機能評価を円滑に実施するためには、評価調査者の量的、質的充足が不可欠であり、安定的確保のための研修の実施を支援するもの。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国の病院を対象とした機能評価を実施するために、全国から公募した病院の院長、看護部長、事務部長等の病院の各管理部門において一定以上の職場長経験を有する者を対象にさらに病院機能評価に求められる専門的知識及び的確な診断能力を備えたサーベイヤーとして養成するため初期研修や実地研修を行うとともに、現任のサーベイヤーを対象に量・質の充足・向上のために研修を実施することを支援するもの。*補助率100%					
実施状況	平成20年度は評価調査者初任時研修会を1回、継続研修会を8回実施した結果、初任時研修は42名、継続研修は313人が受講した。また基礎的・制度的病院機能評価研究事業では改定調整検討会WGを実施しデータブックを作成した。 ※基礎的・制度的病院機能評価研究事業は22年度より廃止					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	34	34	34	25	0
	執行額	34	34	34		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	34	34	34		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、補助事業者から提出された実績報告書に基づき、全ての経費について支出先、用途をチェックしている。したがって事業目的の実現や効果の観点からの検証は行われている。				
	見直しの余地	平成19年度から21年度は執行率100%だが、今後予算額と執行額の乖離がある場合は予算要求の方法について改善し、的確に予算に反映してまいりたい。				
予算・監視の効率化	平成22年度までの事業とされているところであり、平成22年度についても予算の効率的な執行が図られるよう努めること。					
補記						

厚生労働省
20年度執行額34百万円

(病院機能評価の調査者(サーベイヤー)の安定的な量的・質的確保を支援するもの)
(病院機能評価のあり方に関する基礎的・制度的研究を支援するもの)

* 補助率100%

【補助】

A 財団法人
日本医療機能評価機構

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。用途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
旅費	研修会講師及び研修生、並びに改定調整検討会WG委員	20			
諸謝金	研修会講師、並びに改定調整検討会WG委員	6			
雑役務費	振込手数料、研修用DVD作成料等	4			
賃借料	研修会会場料	3			
印刷製本費	研修会資料、データブック印刷費	1			
計		34	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0